



旬なあの人に聞く「あなたのダイヤモンドは？」。今回は、同世代の4名で短編映画を制作し、「渋谷短編映画祭」のファーストセクションにノミネートされた「あこのころ」制作チームの皆さんです。

仲間との映画作りで感じた 地元の人たちの温かさ

桑崎 大学でデザインや映像、ディレクションを学んでいます。「学生のうちに自分の監督作品を作りたい」と、地元の友人たちと共に短編映画を制作しました。上京後に自身が感じた地元や過去への愛おしさ、地元の友人との関わり方の変化を題材に、その感情を表現した作品です。撮影は市内や大洗の海岸などすべて茨城で行いました。初の映画作りで不安でしたが、地元の人たちの協力もあり、納得のいく作品ができました。たくさんの方が応援してくれたことに、地元の人たちの温かさを感じました。

監督 **桑崎 真里亜さん** (上)
企画構成 **郡司 千尋さん** (下)
主演 **門倉 菜さん** (右)
古矢 みなみさん (左)

短編映画「あこのころ」

あらすじ: 女優を目指しながらも上手くいかない苦しさを感じる「秋」と、夢を追う秋への羨ましさを抱いていた「遥」。秋の帰郷で再会した二人は、衝突をきっかけに共に過ごした「あこのころ」に思いを馳せて——。
渋谷短編映画祭 First Selection21にノミネート
渋谷ユーロライブで上映・舞台挨拶

郡司 小学生の頃から、みのくれ住民劇団「演劇ファミリーMYU」の一員として舞台に上がってきました。今回の制作に携わったのは、個人として「仲間と一緒に形に残るものを作りたい」という思いからでした。

桑崎さんとは幼稚園からの長い付き合いで、他のメンバーも信頼の置ける仲間です。劇中の飲み会の場面は、自分の幼馴染を呼んで撮影。一緒に同じ作品に映れたことがうれしくて、思い出深かったです。

門倉 劇団仲間である郡司さんから声が掛かり、主演として参加しました。桑崎さんと郡司さんの想いに賛同したのが参加した理由です。小学生の頃から舞台上に立っていましたが、映像作品は初挑戦。舞台のしゃべり方が抜けず、監督から「もっと自然に」と言われながらの撮影でした。「自然」な芝居の難しさを実感して、とても勉強になりました。

古矢 主演のオファーをもらったとき、うれしかった反面、仕事の忙しさから参加を迷っていました。でも、「この役は古矢じゃない」と何度も誘ってくれたことや、高校生ときの「女優になりたい」という夢を思い出し参加を決意。地元の仲間のおかげで夢が叶いました。人のために何かをすることにやりがいを感じるので、今後も人の役に立つことを考えて実践したいです。

短編映画
「あこのころ」



3月15日(水) 21:00よりプレミア公開、3月15日(水)~31日(金)まで映画アーカイブ公開／詳細はこちらのサイトにてお知らせします ▲

相続 遺言

不動産の名義変更
抵当権の抹消
相談料 は頂いておりません

司法書士 市ノ澤事務所
☎0299-56-4333
茨城県石岡市鹿の子4丁目5番1号
茨城司法書士会所属 司法書士 市ノ澤 創

コラボレーションもご相談ください

安達建具 株式会社

小美玉市羽鳥2738-108
☎0299-46-0205

Instagram > Facebook >

KOGEI IBARAKI 伝統工芸品 「いばらき組子」認定